



SAJ第24回スキーパトロール競技大会 岩手選抜チーム、アキヤ搬送第5位 来年は岩手県で競技大会開催予定

「16番準備してください。」アキヤ搬送種目の順番が近づき、ドキドキしすぎていた心臓がなぜか落ち着いてきた。勝負はここだ！やるしかない。「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ……」スタートの信号音のなか、「いいぞ、行け！」後方操作の菅原さんの声で思い切りスタート。コースは緩斜面、3旗門目までスケータリングでこぎ続け、スピードをいっばい上げる。途中1箇所振り回りの大きい旗門だけ気をつけてほとんど制動なしでタツチゾーンへ。後半は競技スキー選手でもある高畑さんと三河さんコンビ。素晴らしいライン取りとスピードでゴールへ向かう。そのスピードは、患者役の佐藤監督の足が浮き振り落とされそうになったほど。転覆やポール接触などのミスもなく無事ゴール。

アキヤ搬送種目の結果は17チーム中、5位でした。その後のチーム演技（4人でフォーメーションを組んでスキー滑走）も無難にこなし、前日の室内競技（ロープ・三角巾）惨敗の成績を雪上種目で少しだけ挽回することができました。

第24回スキーパトロール技術競技大会が3月28・29日に群馬県パルコル嬢恋スキー場で行われ、今回はここ数年参加のなかった岩手県からの久しぶりの参加でした。

「岩手選抜チーム」は、夏油の佐藤隊長を監督として、同じく夏油の菅原さん、網張の高畑さん、雲石の三河さん、鉛の宇津宮の5名で構成され、各々のスキー場でのパトロール業務が忙しいこともあり事前の合同練習は一度だけで臨むこととなりました。今大会への参加は北海道から兵庫県まで、全国からスキー場

単体や県選抜で編制されたチームが集まり、ほぼ毎年出場しているチームがほとんどでした。常連チームのロープワークや三角巾は裏技のオンパレードでまるで手品を思わせるような早さ。また、地元から持ち込んだアキヤボートはしつかりワックスが塗りこまれており見事なカービングターンを描いていました。タツチゾーンでのアキヤの受け渡し、チーム演技も素晴らしく、事前の十分な練習や準備が伺え、この大会への相当な意気込みを感じました。

正直、この技術競技会上

PATO
岩手

協議会

No44号

事務局

〒029-4503

金ヶ崎町西根真析

152

日本スキーパトロール協議会
岩手県支部

http://www.geocities.jp/patokyoku_iwate/

/patokyoku_iwate/



SAJパト研修会

田沢湖で開催・来年は岩手で

平成21年3月6日（金）から8日（日）、公認スキーパトロール研修会（第2会場）が田沢湖スキー場で、北は北海道から南は香川県の公認スキーパトロール、総勢65名の参加（岩手県7名）で開催されました。

参加者は、北上市佐藤安美県支部会長、盛岡市遠藤さんと越後さん、一戸町西館さんと奥州市及川さん、久慈市平さんと青名畑の7名です。

6日（金）は開会式に続き、阿部修講師（日本雪氷学会・雪崩分科会会長）から雪崩を中心に理論研修を受けました。

7日（土）の実技研修は、悪天候（吹雪）の中、駒ヶ岳第2コース脇で、フォーレスト・ビバーク（緊急露営）作成実技。ゾンデレイン訓練実施。断面に実際に救助者を配置しゾンデ棒の触感を体験。弱層ハンドテストの実践訓



練。さらに、応用スノーボート作成実技。完成後、白樺コースをスキー・センターレラ前まで搬送しました。

18時より、情報交換会が各地の地酒を持ち寄り盛大に開催され、自己紹介し親交を深めました。阿部宏希専門委員から、来年の研修会（岩手県）の参加要請を行いました。

8日（日）の実技研修は快晴の中、すべてのコースから眼下に瑠璃色の田沢湖を望みながらのフリー滑走から始まり「気分爽快！」。バックカントリーの知識を会得し、今後の活動に役立つ内容で大変勉強になりました。有意義でした。

また、同日開催の検定会では岩手県から2名が受検し、全員合格おめでとうございました。48期の2名（佐藤さん、村田さん）については、早々とJSPAに入会して頂きありがとうございます。

今回の研修会・検定会で会場責任者を努めて頂いた、菊池隆SAJ理事（県連教育本部長）お疲れ様でした。

帰路につく前に、及川さん西館さんと私の3人で、乳頭温泉「鶴の湯」で湯治し、疲労した体もリフレッシュしました。

公認スキーパトロールは、研修会規程により3年に1回研修会に出席しなければなりません。来年は岩手県で研修会、多くの仲間と参加しましょう。

県支部理事長 青名畑幸彦

宇津宮 邦昭



今回、公認スキーパトロールを受験し、合格させていた宮古市スキー協会・国見平スキースクール所属 佐藤真也です。

私がパトロールを受験したのは、いくつかの理由がありました。まず一つは、やはりスキーの現場で、万が一の場面に遭遇した場合、適切な判断と処置ができる人間でありたいと思ったことです。スキーが好きですので、やはり雪が降ればスキー場に出かけますし、スキースクールでもお世話になっていきますので、レッスンを待つ機会もあります。そこで、スキーの技術もすることながら、救急法を身につけていきたいと考えました。

公認パトロール検定会を終えて

宮古市スキー協会

佐藤真也(四八期)

岩手県から
2名合格

また、仕事柄子どもと接する機会が多いです。不慮の事故やケガもあります。そういったスキー以外の日常生活での万が一の現場でも、適切な対応ができる知識や技能を身につけたい、という思いもありました。

このような動機からパトロールを受験しました。しかし、検定会までの道のりは、現実厳しいものでした。いままでは、ボートを引いたことがなかったもので、本場から、本場から勉強させていただきました。養成講習会では、ボートがいうことを聞いてくれなかったり、自分がボートに振り回されたりと、まるでうまくできませんでした。余計なところに入り、いつもお昼ご飯は手に力が入らず、ふるえながら箸を持っていたことが思い出されます。それでも、講師の阿部さん、竹田さんをはじめ、網張パトロール隊のみなさんは、親身になって教えてくださいました。我々受験する側の立場に立っていただき、何がよくないのか、どこを直せばいいのかと、いっしょに考えてくださり、とてもうれしく思いました。体は悲



鳴を上げていたのですが、自分の中では、今までなかった新しい知識や技術をたくさん教えていただき、とても充実した楽しい養成講習会でした。ありがとうございました。

養成講習会以外でも練習させていただきました。私が所属している国見平スキースクールには、パトロールの先輩方がたくさんいます。その先輩方もいつも気にかけてくれました。会ったたびに心配してくださり、いろんなアドバイスをいただきました。ザイルも貸していただきました。

今回、岩手県からの受験生は二人でした。そのもう一人の受験生、村田雅俊さんには、本場にお世話になりました。二人なので、ボートの練習は搬送と患者と常に交互に行いました。そして、お互いの改善点を探しながら、研究しながら練習できたことがとても大きかったです。村田さんの熱意と技術に刺激を受けながら頑張ることができました。もし自分一人だったら、合格はなかったと思います。なにより、二人で切磋琢磨し合

善点を探しながら、研究しながら練習できたことがとても大きかったです。村田さんの熱意と技術に刺激を受けながら頑張ることができました。もし自分一人だったら、合格はなかったと思います。なにより、二人で切磋琢磨し合

岩手県支部総会

- ・日時 2009 年 6 月 6 日 16 時～
- ・場所 西和賀町【沢内バーデン】
- ・交流会 18 時 30 分～

パト全国総会

- ・日時 2009 年 9 月 5 日 15 時～
- ・場所 茨城県つくば市
《ホテルグランド東雲》
- ・交流会 18 時～

赤十字救急法救急員の要綱

赤十字救急法救急員の認定を受けるには、赤十字救急法基礎講習(1)と赤十字救急法救急員養成講習(2)を受講し、検定合格者に認定証が交付されます。

赤十字救急法基礎講習開催要領(1)

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 1 会場 | 日本赤十字社岩手県支部
4 階(講習室) |
| 2 期日 | 6 月 5 日(金) 7 月 1 日(水)
9 月 9 日(水) |
| 3 時間 | 午後 1 時～午後 5 時まで |
| 4 受講資格 | 満 15 歳以上の者 |
| 5 経費 | 教材費 1 人 1500 円を徴収 |
| 6 講習内容 | 傷病者の観察の仕方と一次救命処置・学科・実技検定 |

赤十字救急法救急員養成講習開催要領(2)

- | | |
|--------|---|
| 1 会場 | 日本赤十字社岩手県支部
4 階(講習室) |
| 2 期日 | 7 月 2 日(土)～3 日(日)
9 月 12 日(土)～13 日(日) |
| 3 時間 | 午前 9 時～午後 5 時 30 分 |
| 4 受講資格 | 基礎講習(1)を修了者 |
| 5 経費 | 教材費 1 人 1500 円を徴収 |
| 6 講習内容 | 救急員養成講習(12 時間)
急病の手当、けがの手当
(止血法、包帯法、固定法)
搬送及び救護学科・実技検定 |

問い合わせ先

日本赤十字社岩手県支部
電話 019-623-7218

今後は、公認パトロールという資格を名前だけのものにせず、自分の大好きなスキー場、ひめかゆスキー場のパトロール隊の皆様。親身に指導してくださった、机地巧さんはじめ国見平スキースクール、パトロール隊の皆様。宮古市スキー協会の皆様。そして、最後まで苦勞をともにした同じ受験生の村田雅俊さん。本当にありがとうございました。こうやって綴っていると、いかに多くの方々に支えられて今の自分があるのかというのを改めて実感させられました。この感謝の気持ちを忘れず、今後とも頑張りたいと思います。